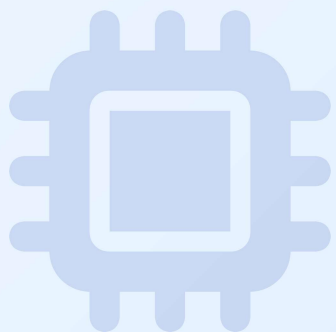




経営ビジョンとDX戦略

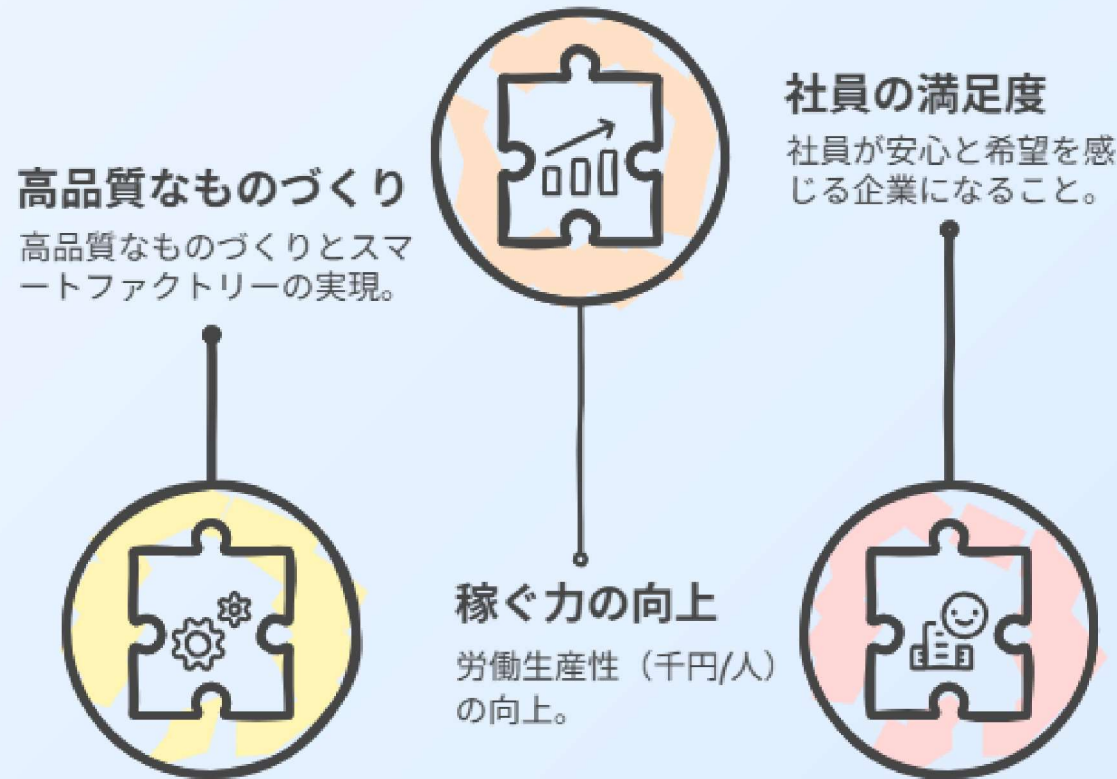
質の高いものづくりとスマートファクトリーの実現に向けて

2025年7月



経営ビジョン

当社は、質の高いものづくりとスマートファクトリーの実現を通じて、生産活動の最適化と情報管理の効率化を図ります。あわせて、労働生産性の向上により「稼ぐ力」を強化し、持続的な成長を目指します。さらに、社員一人ひとりが安心と希望を抱ける職場環境を築き、企業と社員がともに成長できる未来を創造します。



DX推進基本方針

当社は「質の高いものづくり」と「スマートファクトリーの実現」を軸に、小規模製造業ならではの機動力を活かしたDX（デジタルトランスフォーメーション）を推進します。具体的には、次の4つの柱を中心にビジネスモデルを定め、年間のPoC（概念実証）完了数および業務プロセスのデジタル化率(%)を当社DX戦略達成度の指標と定めます。



生産活動のスマート化

IoTを活用して生産効率を向上させ、無駄を排除します。



データ活用による労働生産性の向上

迅速な情報共有と可視化を通じて業務を改善します。



AIを活用した競争力の強化

AI技術の活用により業務効率向上と市場創造の両立を実現



働きやすい職場づくり

従業員の満足度とエンゲージメントを促進します。

DX推進体制およびDX人材の育成

DX推進体制



DX人材育成のポイント



DX人材の集中育成

情報システム部および生産技術部をDX推進の核として位置づけ、専門知識を持った人材を集中的に育成。社内全体へのDXノウハウ展開の中心的役割を担います。



最新技術の習得と実践

オンラインセミナーや外部の専門研修を積極的に活用し、最新技術やトレンドを常にキャッチアップ。積極的にPoCプロジェクトを実施し、社内業務への適用を推進します。

人材育成プロセス

1 DX人材要件定義

必要なスキルセットとロールの明確化

2 スキル評価・分析

現状のスキルレベルを評価し、育成計画を策定

3 教育プログラム実施

社内外の研修と実践プロジェクト経験

4 知識の展開と定着

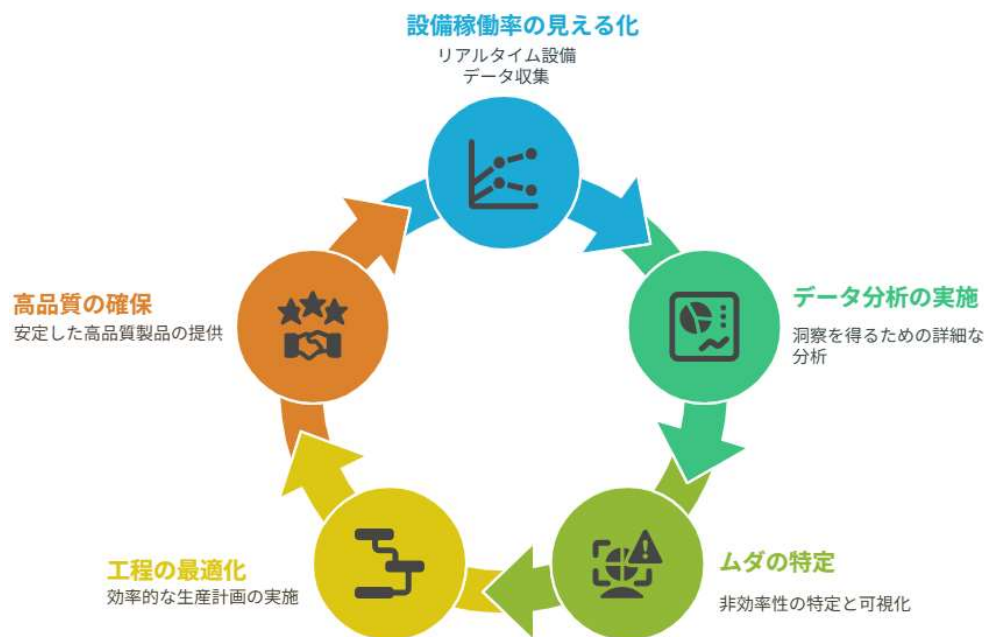
学んだ知識の社内共有と実務への応用



情報システム部および生産技術部が中心となり、**組織全体のDX推進力を強化**します。

DX戦略① 生産活動のスマート化による最適化

スマートファクトリー実現イメージ



スマート化のポイント



設備稼働率の見える化と分析

既の実現したIoTによる設備稼働率の見える化を基礎に、より詳細なデータ分析を実施。稼働状況をリアルタイムで把握し、生産効率を最大化します。



生産工程のムダ排除と効率化

収集したデータを分析して生産工程のムダを可視化し、効率的な生産計画の立案と実行を実現。生産性の大幅な向上を図ります。



高品質製品の安定供給

データに基づいた品質管理と生産工程の最適化により、お客様に高品質な製品を安定的に提供できる生産システムを構築します。



生産に関わるあらゆるモノのIoT化により、**業務効率化とコスト削減および高品質安定供給**を実現します。

DX戦略② データ活用による労働生産性の向上

データ活用による生産性向上イメージ



基幹システム構築

受発注管理、在庫、原価管理を一元化し、リアルタイムな情報共有を可能にします。

各部門のデータを共有・同期し、情報に基づいた意思決定を行い、遅延を防止します。

BIツールによる可視化



労働生産性の向上

データとAIを活用して業務プロセスを効率化し、個々の生産性を継続的に向上させます。

データ活用のポイント



統合型基幹システムの構築

生産管理システムを中心に、受発注・在庫・原価管理を一元化し、全社レベルでのリアルタイムな情報共有体制を構築します。これにより、業務部門間の情報の断絶を解消し、判断の迅速化と現場の対応力強化を図ります。



BIツールによる可視化

各部門のデータをBIツールで共有・同期し、現場・管理部門・経営層が同じデータに基づいて連携できる仕組みを実現します。最新の情報をリアルタイムで参照できるようにすることで、情報のタイムラグによる意思決定の遅れや対応の遅れを防止します。



労働生産性の向上

業務プロセスのあらゆる場面でデータを活用し、AIなどの先端技術との連携によって業務効率を飛躍的に向上させます。社員一人ひとりの活動がより高い成果につながるよう支援し、労働生産性（千円/人）の継続的な向上を実現します。



データ駆動型の意思決定で、**より稼ぐ力の強い企業へ変革**します。

DX戦略③ AIを活用した競争力の強化

AI技術による価値創造



自動データ入力

データ入力プロセスを自動化し、手作業を削減します。



社内情報検索

生成AIを使用して社内に蓄積された各種情報を統合的に検索します。



市場動向予測

市場動向の予測と分析により、提案活動や自社ブランドの競争力強化を支援します。



新製品開発支援

顧客データの分析により、競争優位性の高い付加価値製品の開発を支援します。

実装プロセス

1

AIソリューション調査とPoC実施

2

業務プロセス最適化とAI導入

3

AI活用体制の整備と運用

4

継続的改善と技術アップデート

AI活用によるビジネス変革



業務の自動化と効率化

AI技術を活用したデータ入力・処理の自動化や、カメラ映像の分析による製造業務カイゼンにより、作業時間の削減と人為的ミスの低減を実現。業務効率と製品品質の向上に貢献します。



社内情報の統合検索

生成AIおよびRAG（検索拡張生成）技術を活用し、自然言語により社内に蓄積された各種情報資産をスマートに検索・活用できる次世代の情報検索基盤を実現します。



市場予測と顧客ニーズの分析

AIによる市場動向の予測と顧客ニーズの分析により、ターゲット市場の変化を先取り。得意先への提案活動や自社ブランド製品の競争力を強化します。



潜在ニーズを掘り起こす製品開発

AIによる顧客データ分析を通じて、顧客自身も気づいていない潜在的なニーズを発見。競争優位性の高い付加価値製品の開発に繋がります。



AI技術の活用により、**業務効率向上**と**市場創造**の両立を実現します。

DX戦略④ 社員が安心・希望を持てる働きやすい職場づくり

安心と希望の職場環境



安心

Security



希望

Hope



DXによる業務効率化
業務負荷の軽減



明確な評価指標
公平な評価と成長



ワークライフバランス
私生活の充実



キャリア成長
スキルアップ支援

働きやすい職場づくりのポイント



DXによる業務負荷軽減

デジタル技術を活用して定型業務を自動化し、社員の業務負荷を軽減。創造的な仕事や付加価値の高い業務に集中できる環境を整えます。



明確な評価指標の導入

業務成果やプロセスを可視化するデジタルツールを導入し、公正で透明性の高い評価制度を実現。客観的なデータに基づく評価により、社員の納得感と成長意欲を高めます。



働きやすさとやりがいの両立

柔軟な働き方や自己研鑽を支援する制度と個々の能力を最大限に発揮できるプロジェクト体制により、働きやすさと仕事のやりがいを両立させます。



DXと人間中心の組織設計で、**安心と希望を抱ける企業風土**を醸成します。

DXによる職場環境改善プロセス

現状分析

DX実装

業務変革

新たな企業風土

課題の可視化と優先
順位付け

デジタルツール導入
と定着

新たな働き方への転
換

創造性と生産性の両
立